

# 社会環境工学科

DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING

学科  
紹介

## 美しく安全で豊かな国土・暮らしを目指して



私達の生活を安全に、そして美しく豊かに営むために、道路や公園、河川や水道のような社会基盤（インフラストラクチャー）は必要不可欠です。本学科では、社会基盤を環境に配慮しながら計画・設計・建設・維持管理するとともに、地域社会の問題解決のための技術や政策を提供するための研究を「社会基盤整備」、「環境保全」、「防災」、「まちづくり」を大きなテーマとして行っています。研究室公開ではそれぞれの最新トピックを紹介します。

## 研究室公開テーマ

### D-1 防災 × デザイン

#### 水辺のグッドデザイン

星野研では、災害にも強く、人々が居心地良く暮らせる社会基盤を実際にデザインしています。2012年度グッドデザイン賞を受賞した「曾木の滝分水路」を中心に、安全で楽しい水辺のデザインを紹介します。



曾木の滝分水路

### D-2 九州・熊本の川づくり

#### 自然豊かな国土を次世代へ

人にとっても生物にとっても心地よい自然豊かな国土を次世代へ継承するため、主に河川を対象に調査・研究を行っています。

現在、熊本県玉名市を流れる境川において、治水と生態系の保全・再生を両立させ、地域の財産となる川づくりを、地域住民、行政と協働で進めています（写真）。



境川（熊本県玉名市）

### D-3 [エコ]<sup>2</sup>コンクリート

#### コンクリートもエコ？

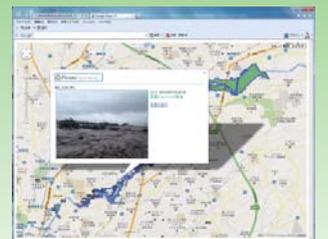
今やエコ (Economy) でエコ (Ecology) な時代です。コンクリートもエコ<sup>2</sup>でなければなりません。しかも性能は今までと同じく丈夫で長持ち。そんな事を日夜考えている社会環境マテリアルの一端を紹介します。



### D-4 災害とのつきあい方

#### 天災は忘れた頃にやってくる

災害に強いまちづくりに必要なのは、経験や知識にもとづいた日頃からの備えです。地すべりや河川氾濫などの災害データを最新のICTで整理し、より多くの人が情報を共有できるシステム作りを進めています。



Google map 上で共有できる災害リスクや災害記録の例